

商号又は名称 藪田土地株式会社

事務所名 本店

様式第八号の二 (第十七条の二関係)

従業者名簿

注: 宅建業に従事することになった日を記載すること。  
 ※ 新規の場合は、免許を取得した日を記載(会社等の設立日ではない)  
 ※ 兼業がある場合は、入社日ではなく、宅建業部門に従事した日を記載(入社と同時に宅建業に従事したのであれば入社日)

氏名	従業者 証明書番号	主たる職務内容	宅地建物取引士で あるか否かの別	この事務所の従業者 となった年月日	この事務所の従業者 でなくなった年月日
岐阜 貴司	981001	代表者・専任	○	H10.10.5	
大垣 文夫	010502	営業		H13.5.20	H20.3.15
高山 佳子	110803	事務		H15.8.11	
美濃 篤史	150204	営業		H17.2.1	H20.8.20
東濃 正樹	180105	専任	○	H20.1.15	
<div data-bbox="266 907 819 1126" data-label="Text"> <p>宅建業に従事した年(西暦)の下2桁と月の2桁を従業者証明書番号の頭にする。                      記載例の場合は平成30(2018年)1月に宅建業に従事したため【1801〇〇】となる。                      (〇〇の部分は業者での任意の数、ただし同じ番号の従業員が発生しないようにすること。</p> </div> <div data-bbox="883 907 1361 1141" data-label="Text"> <p>職務内容の記載例                      ・代表取締役                      ・政令使用人                      ・専任の宅地建物取引士                      ・その他の者                      なお、複数の職務を兼ねている場合には、すべて記入すること。</p> </div> <div data-bbox="1415 929 1872 1081" data-label="Text"> <p>事務所ごとに名簿を整備すること。                      記載例の場合、大垣文夫氏は、大垣支店に異動しているため、本店の従業員ではなくなった。</p> </div>					

備考

- 「従業者証明書番号」の欄には、法第48条第1項の証明書の番号を記入すること。
- 「宅地建物取引士であるか否かの別」の欄には、宅地建物取引士である者には○印をつけること。
- 一時的に業務に従事する者についても記載すること。
- 記載すべき事由が発生した場合には、2週間以内に記載すること。なお、記載事項について変更、訂正等をするときは、変更、訂正等をする前の文字等は、なお読むことができるようにしておくこと。

